

平成28年度 第2回 倫理審査委員会の記録概要

開催日時：平成29年2月28日(火) 16:30～17:00

開催場所：独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：本田臨床研究部長、幸薬剤科長、佐藤事務部長、吉岡看護部長、飯田外部委員、緒方外部委員

審議事項 申請番号 2536

【課題名】 精神神経系薬服用患者における慢性便秘症に対するルビプロストンの効果と副作用の検討

【申請者】 吉見薬剤師

【概要】 便秘は、抗精神病薬や抗うつ薬を服薬している精神疾患患者において高頻度に認められ副作用である。悪化するとイレウスや腸管穿孔、腹膜炎などの重大な合併症へつながるおそれもあり、患者の QOL を低下させる一因になりうる。

便秘を改善することは、患者の QOL を向上させ、患者・看護師双方の負担を軽減させる意味で重要である。ルビプロストンは、糞便の膨化や腸管内輸送を促進することにより、排便を促す。向精神薬や抗うつ薬は D2 受容体拮抗作用を持つことから、これらの薬剤を服用している患者では、悪心が発言しにくい可能性もある。

そこで、今回当院に入院加療中の慢性便秘症患者に対するルビプロストンの効果と副作用について検討する。

【判定】 承認